

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		農業体験助成事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	020101000152	
							単独/補助	単独	所属課	090101	
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実							課長名	学校教育課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり							グループ	総務グループ	
	施策名	01 学校教育の充実							担当者名		
	手段名	01 ①教育内容の充実									
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	10	01	07	00	00	単年度繰返し (平成8年度~)				
法令根拠							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>桜川市立の小学校及び義務教育学校のうち、3校において学童農園を設置し、3校とも全校児童で地域の方やPTA等の協力を得て、農業体験事業を実施している。</p> <p>稲作においては田植え、除草、稲刈りのほか、収穫祭(餅つき・赤飯炊き)などを行っている。畑作では、トウモロコシ、サツマイモ、ソバ等を作付けし、種まき・苗の植え付け、草取りを行い、そして収穫・試食など様々な体験活動を行っている。</p> <p>・谷貝小学校 (令和2年度で廃止) トウモロコシ、サツマイモの栽培 ・榊小学校 稲作、野菜類の栽培 ・桃山学園 もち米の栽培</p> <p>3校に対し農業体験活動に要する経費は予算令達により執行している。</p>		<p>学校予算配分事務</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
学校予算配分事務	農業体験活動実施校数	校	3.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市内小学校・義務教育学校の児童	市内小学校・義務教育学校の児童数	人	1,898.00	1,805.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
勤労生産の喜びを肌で感じてもらう。	農業体験活動参加児童数	人	686.00	555.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投 入 量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	114	70	0	0
	事業費計 (A)	千円	114	70	0	0
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	0.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	07 報償費	68		
10 需用費	2			
	合計	70	合計	0

事務事業名	農業体験助成事業	事務事業No.	20101000152	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併前の眞壁町の小学校4校において、平成8年度から15年度までの7年間、県の農林補助事業を取り入れて実施する。平成16・17年度は眞壁町の単独補助事業により実施する。町村の合併後の平成18年からは、市単独補助で眞壁地区の3小学校で実施している。 当初の3年間は、県の補助事業により実施。 その後については、市の単独補助事業により実施してきたが、平成20年度からは実施校へ補助金交付でなく予算令達により実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・土地所有者や作物を栽培するための指導者や協力者の謝礼、種苗代等の必要経費の増額を願いたい。 ・谷貝小学校は指導者の担い手がいないため、令和2年度をもって事業終了の申し出がありました承した。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 働くことの喜びを体験し、その生産物の大切さを認識させるとともに豊かな心の育成を図ることは学校教育の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童に「その生産物の大切さを認識させるとともに豊かな心の育成を図る」ことは、市の責務である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 勤労生産の喜びや、食料生産の大切さを理解した児童が大半を占めているので、成果はほぼ達成できていると思われる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止は体験学習事業の充実が図れない。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 教育振興事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 令和3年度より予算を各学校の教育振興事業に組み入れることになった
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は土地代・種苗代・肥料代・機械借上代等で必要最小限である。人件費において、学校予算執行に係る必要最小限の指導事務で削減の余地はない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある この事業は市立小学校・義務教育学校10校のうち、事業実施校が3校であり、未実施校に対して不公平感はある。しかし、この事業を実施するためには学校に近隣する場所の確保や年間を通しての農作業の指導者や協力者が必要である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・この事業は農業体験活動を通して、勤労生産の喜びや生産物の大切さを理解させ、児童に豊かな心を養わせるためには最適な事業である。市予算での実施校が3校であり、令和3年度より予算を各学校の教育振興事業に組み入れることになった。 ・谷貝小学校は指導者の担い手がいないため、令和2年度をもって事業終了の申し出がありました承した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○										
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
				○																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認